

平成20年度環境技術実証事業検討会
VOC 処理技術(中小事業所向けVOC処理技術)
ワーキンググループ会合(第2回)
議事要旨(案)

1. 日時：平成20年7月18日(金) 10:00～11:30

2. 場所：航空会館 801号室

3. 議題

- (1) 実証機関の選定について
- (2) 今後の進め方について
- (3) その他

4. 出席検討員：坂本座長、岩崎委員、土井委員、島田委員、本田委員

実証機関：財団法人東京都環境整備公社東京都環境科学研究所 横田氏、秋山氏

5. 配布資料

- 資料1 平成20年度環境技術実証事業検討会VOC 処理技術(中小事業所向けVOC 処理技術)ワーキンググループ会合(第1回)議事概要(案)
- 資料2 環境技術実証事業VOC処理技術分野(中小事業所向けVOC処理技術)における「中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領」の策定及び実証機関の公募の開始について(お知らせ)
- 資料3 平成20年度環境技術実証事業VOC 処理技術分野(中小事業所向けVOC 処理技術)の進め方について(案)
- 資料4-1 他分野における手数料予定額の明示方法の例示
- 資料4-2 VOC 処理技術分野(中小事業所向けVOC処理技術)における手数料の概算方法例示、手数料予定額の明示方法の例示
- 資料5 平成20年度環境技術実証事業(VOC処理技術(中小事業所向けVOC処理技術分野)分野)実施計画(案)(財団法人東京都環境整備公社東京都環境科学研究所)
- 資料6 平成20年度揮発性有機化合物(VOC)対策功労者表彰の候補者募集について(お知らせ)
- 資料7 今後のスケジュール(案)

- 参考資料 1 平成 20 年度中小企業向け VOC 処理技術実証試験要領（第 1 版）
- 参考資料 2 実証機関応募書類（財団法人東京都環境整備公社東京都環境科学研究所）
（委員限り）
- 参考資料 3 実証機関の選定結果について（財団法人東京都環境整備公社東京都環境科学研究所）（委員限り）
- 参考資料 4 手数料の概算方法例示（委員限り）
- 参考資料 5 「2008 洗浄総合展」（平成 20 年 10 月 1 日（水）～10 月 3 日（金）開催）

6. 議事

会議は公開で行われた。

（1）実証機関の選定について

- ・事務局から資料 2、参考資料 2、3 に基づき、実証機関の選定結果について報告。
- ・財団法人東京都環境整備公社東京都環境科学研究所が昨年度に引き続き平成 20 年度の実証機関として選定されたことが、検討員により確認された。

（2）今後の進め方について

- ・事務局から、資料 3、4-1、4-2、参考資料 4 に基づき、今後の進め方についておよび手数料予定額の明示方法について説明。
- ・実証機関から、資料 4 に基づき、実施計画について説明。
- ・手数料予定額の明示は、技術開発者にとって魅力的であるよう、様々なケースを想定した予定額を明示することが必要であるとの意見があった。
- ・応募者が増加すれば、実証機関としても手数料を抑えることができ、またノウハウを蓄積することができる。さらには、次年度以降も実証機関、技術開発者の双方にとって実証しやすくなるなどのよりよい流れを構築することが大切であるとの意見があった。
- ・実証機関の実施計画は了承され、可能な限り多くの技術を受け入れてほしいとの要望があった。

（3）その他

- ・事務局から、資料 6 に基づき、本分野における実証技術について、揮発性有機化合物（VOC）対策功労者表彰制度の審査において加点を検討することについて、説明。
- ・事務局から、参考資料 5 に基づき、「2008 洗浄総合展」において、本分野のブースが設けられ、啓蒙活動が実施されることについて説明。
- ・事務局から、資料 7 に基づき、今後のスケジュールについて説明。
- ・今回の会合については公開であり、委員限りの資料以外の資料および議事については後日ホームページに公開することが了承された。

（文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり）